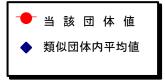
(11)市町村公会計指標分析/財政指標組合せ分析表

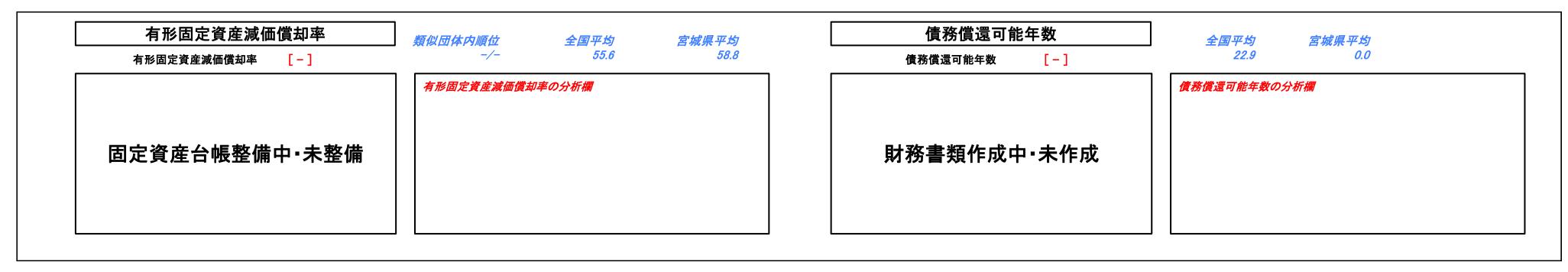
平成27年度

宮城県大郷町

人 ロ 8,483 人(H28.1.1現在) 実質赤字比率 - % 連結実質赤字比率 - % 面 積 82.01 km 実質公債費比率 9.7 % 歳入総額 5,306,250 千円 将来負担比率 9.1 % ポーク サイン では、 1.1 を 1

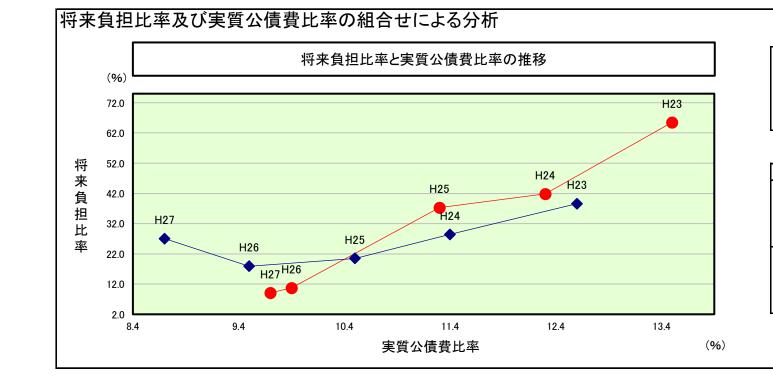


- ※ 有形固定資産減価償却率は平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成28年10月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析 将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移 **固定資産台帳整備中・未整備**

(参考)		Пор	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	H23	H24	П20	H20	HZ/
	有形固定資産減価償却率					
類似団体内平均値	将来負担比率					
	有形固定資産減価償却率					



分析欄 |将来負担比率及び実質公債比率ともに減少傾向にあるが、将来負担比率については、下水道事業の地方債繰上償還及び新規借入の抑制等により減少した。 |また、実質公債費比率については、統合小学校建設に伴う地方債償還等により元利償還金等が増加したが、前年度の単年度実質公債費比率が低かったこと等により減少した。 |今後、町道・橋梁改良工事、公営住宅建設並びに宅地分譲事業等に係る公債費等の増加が見込まれており、地方債の新規発行抑制等引き続き財政の健全化に努める必要がある。

参考)						
		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	65.5	41.8	37.3	10.7	9.1
	実質公債費比率	13.5	12.3	11.3	9.9	9.7
類似団体内平均値	将来負担比率	38.6	28.4	20.5	17.9	27.0
	実質公債費比率	12.6	11.4	10.5	9.5	8.7